

取扱い説明書 2 オートマチックタイヤトゥルーアー

ハブの取付け

本体のシャフトに弊社製タイヤトゥルーアー用ハブをしっかりと取付けて下さい。ハブがイモネジにより固定するタイプを使用する場合は、本体のシャフト上でイモネジが当たる部分をヤスリ、リユーター等でDカットしてご使用下さい。

タイヤの取付け

バイトをスライドガイドの左端に寄せておきます。本体に取付けたハブにタイヤをしっかりと固定します。このとき、バイトで手を傷付けないように注意して下さい。

電源の接続

電源は必ず、直流電源を使用して下さい。電源を接続する前に、必ず本体のモーター回転スイッチがOFFになっていることを確認して下さい。スイッチがONの状態では電源が接続されると、本体のモーターが回転し思わぬ事故につながる場合があります。12V電源安定化電源、もしくは12Vバッテリーを使用して下さい付属の12Vコードを本体裏のコネクターに接続します。次に赤いワニ口クリップを12V電源のプラス側、黒いワニ口クリップを12V電源のマイナス側に接続します。安定化電源を使用する場合は容量の大きい製品（推奨18A以上）をご使用下さい。容量の低い安定化電源を使用すると、本体の動作が安定しないだけでなく、安定化電源に負担がかかり破損する恐れがありますので使用しないで下さい。また、電圧可変タイプの安定化電源を使用する場合は、電圧を必ず12Vに設定してから使用して下さい。過剰な電圧で本製品を使用すると、モーターが破損する場合がありますだけでなく、モーターの回転が異常に上がり危険です。

タイヤの整形

1. タイヤ径調整ダイヤルストッパーを緩めます。
2. タイヤ径調整ダイヤルを左にいっぱい回し、タイヤからバイトを離して下さい。
3. バイト送りボタンスイッチ（赤）の右側を押しますとバイトが右側に動き始めます、タイヤの左端までバイトがきたら一度バイト送りを黄色の送りストップボタンを押して動きを止めます
4. 本体左側のモーター回転スイッチをON側にしますモーターが回転しますので注意して下さい。
5. タイヤ径調整ダイヤルを右に回しタイヤ表面に触れる直前までタイヤ径調整ダイヤルを右に回します。
6. バイト送りボタンスイッチの左側を押してバイトを元の位置まで戻しますその際は自動的に止まる所まで戻します。
7. モーター回転スイッチをOFFにし回転を止めます、本体のカバーを手前側に移動します。
8. タイヤ径調整ダイヤルを右へ半回転させた後タイヤ径調整ダイヤルストッパーを軽く閉めます、モーター回転スイッチをON側にしますモーターが回転します。
9. バイト送りボタンスイッチの右側を押しますとバイトが右側に移動しタイヤを削り始めますそのままの状態ではバイトが一番右端まできますと自動的に左側にバイトが戻り一番左端まで戻ると自動的にバイト送りが止まります。この状態でタイヤが直径で約1mm削られます。
10. モーター回転スイッチをOFFにし回転を止めます、本体のカバーを空けタイヤ径をノギスで測ります。
11. タイヤ径調整ダイヤルを1回転させると、タイヤが直径で約2mm削られます、タイヤの削り過ぎを防止するために、タイヤを少し削る度にノギス等でチェックして下さい。このときは必ずスイッチをOFFにし、電源を本体から取り外してから行って下さい。

一度に多く削らず、直径で2mmくらいずつ（タイヤ径調整ダイヤル1回転分）削るようにして下さい。また、目盛は目安ですので必ずノギスで確認しながら整形して下さい。テーパ角を付ける場合は本体下のスライダー固定ビスを緩め、本体上に刻まれている目盛を任意の角度に合わせた後、固定ビスを締めます。また、バイトが本体のモーターに近づく程、削る量が多くなりモーターに負担がかかりますので注意して下さい。

注意

タイヤ整形中にモーター回転スイッチをOFFにしてもバイト送りは止まりません整形中に異音や異常を感じましたらまずバイト送りを黄色の送りストップボタンを押して動きを止め次にモーター回転スイッチをOFFにします。

以上の点に注意し正しくご使用下さい。